

24 奥利根水源の森



1. 森林の状況

面積: 608ha

標高: 900～1,500m

森林の種類: 人工林 7% 天然林 93%

主な樹種: ブナ・ヒバ・カラマツ・カエデ・ダケカンバ・ナナカマド (針葉樹 21% 広葉樹 79%)

林齢: 15～300年

制限林の指定:

水源かん養保安林 昭和45年

保健保安林 昭和58年

2. 水源の状況

種類: 渓流水 (湯ノ小屋川)、ダム貯水 (奈良俣ダム)

利用状況: 生活用水 25,060,000人 農業用水、工業用水として 68工場へ供給

水源の流量: 216,000m³/日

3. 地域の概況

区域内には、俳人水原秋桜子が命名した11の滝が連なる「照葉峡」やブナ林内の湿原には氷河時代の残存植生であるヒメカイウの群生などが見られます。

また、9つの遊歩道や管理車道、駐車場などが整備され、水源かん養機能を高めるための森林整備の展示林や各種治山ダムなどの施設が見学できるように配置されています。

夏のキャンプ、秋には「関東の奥入瀬」と呼ばれる紅葉の景色が格別で、多くの行楽客が訪れています。

なお、県道水上・片品線は冬期閉鎖となるため、通行できるのは6月1日から11月中旬までとなります。

所在地: 群馬県利根郡みなかみ町大字藤原字田代

4. アクセス

鉄道: JR上越線「水上駅」下車、湯ノ小屋行きバス乗り換え「湯ノ小屋」下車、徒歩20分で照葉峡

車: 関越自動車道「水上IC」から1時間、またはJR上越線「水上駅」から50分